

団体名：周南おもちゃ病院

活動名：周南おもちゃ病院

病院長 / 山本 ^{やまもと} 精一 ^{せいいち} 所在地 / 周南市慶万町 3 - 8 - 4 0 1

活動紹介

おもちゃには奇抜なアイデアが組み込まれていて、動いたり喋ったり、楽器として鳴ったりします。彼らは子供の友達です。この友達が病気になると家庭では治せないの、「棄てなさい。替わりをお金で買ってあげます」となりがちです。これでは友達を大切にすることにはならず、思いやりの心も育ちません。

そこで我々のおもちゃ病院は

壊れたおもちゃを治すことにより「使い捨て意識の改善」に資するとともに、子供の目の前でおもちゃを分解して内部構造を一緒に観察し、子供たちの「科学する心」「物を大切にする心」を育てる

修理に参加するシニアの「生き甲斐」を醸成するとともに、協力市民、学生などの「ボランティア意識」を啓発する

を主旨として、昨年 8 月に発足しました。徳山駅ビルで毎月第 3 日曜日（家庭の日）に定期開院するほか、イベントにあわせた出張も入れて不定期開院 3 回と、昨年下半年は合計 9 回開院し、229 個の壊れたおもちゃを受け付けました。一回平均 25 個で、その内 40% が即日治癒、50% が入院、10% が手遅れでした。当おもちゃ病院の構成は、ドクター 13 名に顧問がいるほか、毎回の開院ごとに徳山高専からナースとして 2 名が派遣されるという特色があります。

また、この夏休みに岐山小学校の校長先生の要望に応じて、子どもに壊れたおもちゃの治し方の実習を行いました。この実習は、おもちゃ病院の今後の発展方向として重視したいと思います。

21 世紀のわが国の繁栄は技術開発を措いてないと思います。おもちゃの内部観察や治し方に興味を持ち、ノーベル賞の田中耕一さんに続く技術者が生まれることを願って、病院一同努力しているところです。

